

# **Yahoo! JAPAN Ads API Webinar**

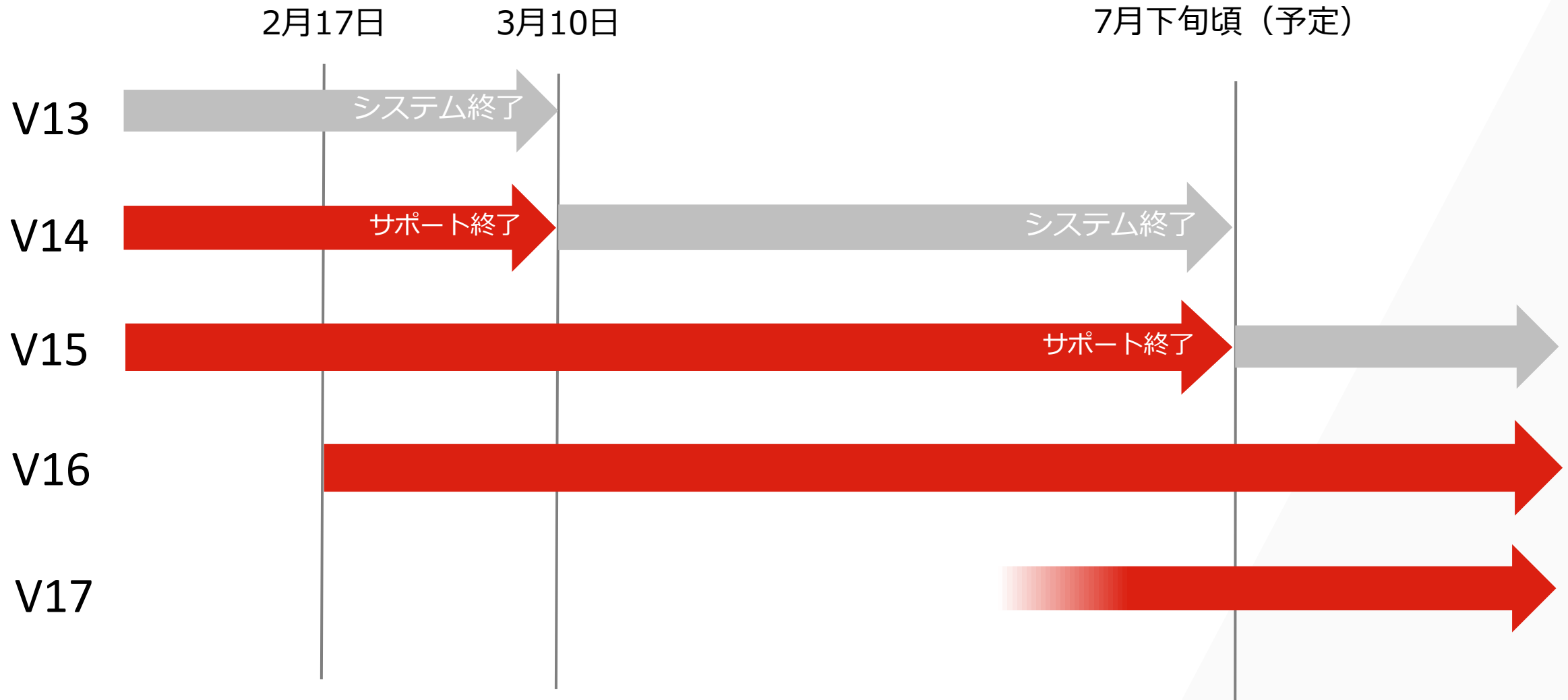
## **March, 2025**

# Agenda

- 01**    ロードマップ
- 02**    v16アップデート情報
- 03**    各種情報共有
- 04**    質疑応答

# 1. ロードマップ

# Yahoo!広告 APIシステム終了、サポート終了スケジュール



システム終了、サポート終了の予定は下記でも確認可能です。

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/developercenter/ja/developers-guide/release-note.html>

※Yahoo!広告 API：以降、APIと表記

## 2. v16アップデート情報

# Yahoo!広告 検索広告

# ファビコンアセット対応

サイトの内容を示すロゴを広告に表示する「ファビコンアセット」の提供を開始しました。

v16リリース時点ではIFのみの公開で、実際にご利用いただけるのは機能リリース後となります。

リリース予定日：2025年3月18日（火）

## ■ CampaignAssetService

- ・ typeにEnum値「FAVICON」を追加

## ■ CampaignExportService

- ・ entityTypeにEnum値「FAVICON\_ASSET」を追加

※v15以前のバージョンで、entityTypeにALLを指定、またはnullにした場合は、ファビコンアセットのエンティティも返却されます

（ご参考）【検索広告】 ファビコンアセットの提供開始について

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/25012102.html>

# ファビコンアセット対応

V16/AssetService/add のリクエスト例

## ■ AssetService

- assetData.typeにEnum値「FAVICON」を追加
- assetDataにフィールド「faviconAsset」を追加

※addの際、指定できるAssetオブジェクトは最大1件となります

※v15以前のバージョンでgetで全件取得した場合、ファビコンアセットのエンティティは「UNKNOWN」が返却されます

```
{
  "rval": {
    "values": [
      {
        "asset": {
          "accountId": 123456,
          "assetId": 111111,
          "assetData": {
            "type": "FAVICON",
            "faviconAsset": {
              "faviconName": "ファビコン",
              "data": "画像ファイルのbase64エンコード",
              "aspectRatio": "string",
            }
          }
        },
      },
    ],
  },
  //…以下略
}
```

(ご参考) 【検索広告】 ファビコンアセットの提供開始について

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/25012102.html>



# 検索連動型ショッピング広告（SSA）のレポート取得に対応

検索連動型ショッピング広告のレポートがYahoo!広告 検索広告 APIで取得可能になりました。

[新規追加]

SsaReportDefinitionService/get, add, remove, getReportFields, download

SsaReportDefinitionServiceはレポート系APIですが、QPS変更でレポート系API の上限数を変更していても、SsaReportDefinitionServiceは「最大5件/秒」のまま変更されません。

(ご参考) リファレンス

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/reference/ads-search-api/v16/SsaReportDefinitionService/>

# 検索連動型ショッピング広告（SSA）のレポート取得に対応

SsaReportDefinitionServiceでは、ReportDefinitionServiceとEnumが異なるためご注意ください。

	SsaReportDefinitionService	ReportDefinitionService
filterOperator	EQUALS、 GREATER_THAN_EQUALS、 LESS_THAN_EQUALS、 CONTAINS、IN	EQUALS、NOT_EQUALS、 GREATER_THAN、 GREATER_THAN_EQUALS、 LESS_THAN、LESS_THAN_EQUALS、 CONTAINS、IN
reportCompressType	NONE	NONE、ZIP
reportDownloadEncode	UTF8	UTF8、SJIS、UTF16LE

（ご参考）リファレンス

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/reference/ads-search-api/v16/SsaReportDefinitionService/>

# 検索連動型ショッピング広告（SSA）のアカウント取得に対応

検索広告（ショッピング）アカウント、検索広告（ショッピング）アカウント情報の取得が可能になりました。

[新規追加]

SsaAccountService/get

BaseAccountService/get の includeSsaAccount

（ご参考）リファレンス

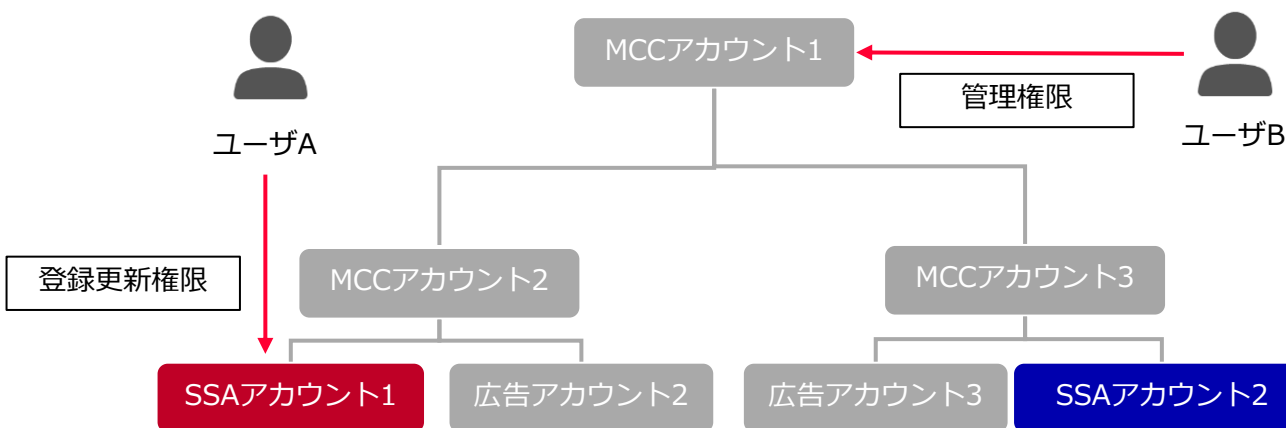
- <https://ads-developers.yahoo.co.jp/reference/ads-search-api/v16/SsaAccountService/>
- <https://ads-developers.yahoo.co.jp/reference/ads-search-api/v16/BaseAccountService/>

# 検索連動型ショッピング広告（SSA）のアカウント取得に対応

検索広告（ショッピング）アカウント（以下、SSAアカウント）でも、ベースアカウントの扱いは通常の検索アカウントと同様です。

SSAアカウントに直接権限を持つ場合は、BaseAccountService/get の includeSsaAccount をALL（すべて）またはONLY\_SSA（SSAアカウントのみ）としてx-z-base-account-idに指定するアカウントIDを取得してください。

SSAアカウント情報は、AccountServiceではなくSsaAccountServiceで取得します。



「x-z-base-account-id」	操作対象アカウント	権限
SSAアカウント1	SSAアカウント1	登録更新権限
MCCアカウント1	SSAアカウント2	管理権限

（ご参考）リファレンス

- <https://ads-developers.yahoo.co.jp/reference/ads-search-api/v16/SsaAccountService/>
- <https://ads-developers.yahoo.co.jp/reference/ads-search-api/v16/BaseAccountService/>

# Yahoo!広告 ディスプレイ広告

# LINE広告・LINE公式アカウントからの オーディエンスデータ連携に対応

LINE広告およびLINE公式アカウントのオーディエンスデータを利用した広告配信に対応しました。

AudienceListService、AdGroupTargetServiceの  
audienceListTypesにBUSINESS\_MANAGERを追加

v16/AudienceListService /get のレスポンス例

```
"rval": {  
  "values": [  
    {  
      "audienceList": {  
        "accountId": 123456,  
        "audienceListContent": {  
          "businessManagerAudienceList": {  
            "lineAudienceGroupId": 111111,  
            "lineAudienceGroupType": "IDFA_AAID_UPLOAD",  
            "lineAudienceGroupOwnerType": "LINE_ADS",  
            "isZeroOrCurrentlyTotaling": "TRUE"  
          },  
          "audienceListType": "BUSINESS_MANAGER"  
        },  
        //...以下略
```

(ご参考) 【ディスプレイ広告(運用型)】LINE公式アカウント・LINE広告からのオーディエンスデータ連携について  
<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/250107.html>

# 入札戦略「コンバージョン価値の最大化」（β版）の提供開始

コンバージョン設定の「コンバージョンの価値」が最大になるように入札価格を自動調整する入札戦略「コンバージョン価値の最大化」（β版）に対応しました。また、広告費用対効果の目標値の設定にも対応しました。

v16リリース時点ではIFのみの公開でした。現在は機能リリース済のため、ご利用いただけます。

リリース日：2025年2月19日（水）

## ■ CampaignService

- ・ biddingStrategyTypeにEnum値「MAXIMIZE\_CONVERSION\_VALUE」を追加
- ・ オブジェクト maximizeConversionValueBiddingScheme.targetRoas を追加

## ■ AdGroupService

- ・ biddingStrategyTypeにEnum値「MAXIMIZE\_CONVERSION\_VALUE」を追加
- ・ オブジェクト maximizeConversionValueBiddingScheme.targetRoas を追加

（ご参考）【ディスプレイ広告（運用型）】入札戦略「コンバージョン価値の最大化」（β版）の提供開始

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/25020501.html>

# 画像・動画の審査開始タイミング変更に対応

審査プロセスの最適化を目的とした画像・動画の審査開始タイミング変更に対応しました。

v16リリース時点ではIFのみの公開でした。現在は機能リリース済のため、ご利用いただけます。

リリース日：2025年2月26日（水）

## ■ MediaService

- ・ approvalStatusにEnum値「PENDING\_UNSPECIFIED\_AD」を追加
- ・ creationTime が reviewApplicationDate に変更

## ■ VideoService

- ・ approvalStatusにEnum値「PENDING\_UNSPECIFIED\_AD」を追加
- ・ createdAtTime が reviewApplicationDate に変更

（ご参考）【ディスプレイ広告】画像・動画の審査開始タイミング変更について

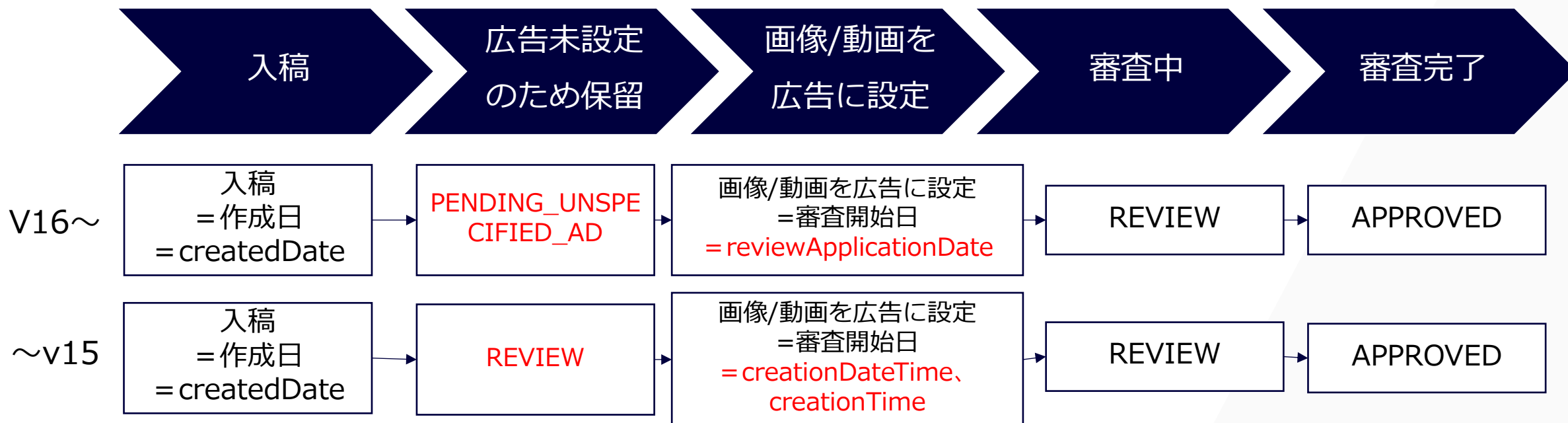
<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/241030.html>



# 画像・動画の審査開始タイミング変更に対応

従来は、画像/動画を入稿するとすぐに審査開始していましたが、変更後は画像/動画が広告に設定されたタイミングで審査開始となります。

※過去バージョンについては、「PENDING\_UNSPECIFIED\_AD（広告未設定のため保留）」の状態でも「REVIEW（審査中）」状態の表示となりますのでご注意ください。



(ご参考) 【ディスプレイ広告】画像・動画の審査開始タイミング変更について  
<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/241030.html>

# 最適化提案のビューアブルインプレッション数の最大化対応

ビューアブルインプレッション数の最大化が最適化スコアに対応しました。

v16リリース時点ではIFのみの公開で、実際にご利用いただけるのは機能リリース後となります。

リリース予定日：2025年春ごろ

## ■ RecommendationService

- ・ entityTypeにEnum値「MAXIMIZE\_VIEWABLE\_IMPRESSIONS」を追加
- ・ オブジェクト maximizeViewableImpressions を追加

(ご参考) リファレンス

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/reference/ads-display-api/v16/RecommendationService/>

# キャンペーン共有予算

キャンペーンを横断して予算管理ができる「キャンペーンの共有予算」機能を提供します。検索広告ではすでに提供済の機能です。

v16リリース時点ではIFのみの公開で、実際にご利用いただけるのは機能リリース後となります。

リリース予定日：2025年春ごろ

[新規追加]

CampaignBudgetService/add, set, get, remove

# キャンペーン共有予算

CampaignBudgetService で追加した後、CampaignService で campaignBudgetId を指定します。

キャンペーン共有予算が設定されているキャンペーンは過去バージョン（v15以前）では campaignBudgetId が取得できませんので、v16以降をお使いください。

## ① CampaignBudgetService で追加

CampaignBudgetService/add のリクエスト例

```
{
  "accountId": 123456,
  "operand": [
    {
      "accountId": 123456,
      "campaignBudgetName": "共有予算1",
      "amount": 1000000
    }
  ]
}
```

v16～

## ② CampaignService で campaignBudgetId を指定

CampaignService/set または add のリクエスト例

```
{
  "accountId": 123456,
  "operand": [
    {
      "accountId": 123456,
      "campaignId": 1234567,
      "budget": { // ※
        "campaignBudgetId": 11111
      }
    },
    ... // 以下略
  ]
}
```

v16～

※amount と campaignBudgetId は両方同時に設定することはできませんのでご注意ください。

# フィードのダウンロード上限件数の変更について

以下2つのserviceのダウンロード上限を10万件から1万件に変更しました。

- FeedDataService/downloadErrorFile
- FeedService/downloadDisApprovalReasonList

# AdGroupTargetServiceのEnum変更について

AdGroupTargetServiceのplacementUrlListTypeのEnum値を以下のとおり変更します。

- WHITE\_LIST → STANDARD\_LIST
- BLACK\_LIST → EXCLUSIONS\_ONLY\_LIST

# 各種ファイルで利用できる文字コードの統一

各種ファイル（Upload/Download）で利用できる文字コードを統一しました。

v16リリース時点ではIFのみの公開で、実際にご利用いただけるのは機能リリース後となります。

リリース予定日：2025年春ごろ

～v15

Service	利用できる文字コード
ReportDefinition Service	UTF8、SJIS、UTF16LE
AuditLogService	UTF8、SJIS
FeedDataService	指定不可（SJIS）

v16

Service	利用できる文字コード
ReportDefinition Service	UTF8、SJIS、UTF16LE、 UTF8(BOMあり)
AuditLogService	UTF8、SJIS、 UTF16LE、 UTF8(BOMあり)
FeedDataService	UTF8、SJIS、 UTF16LE、 UTF8(BOMあり)

# 3. 各種情報共有



# テスト用アプリケーション追加について

登録可能なアプリケーションについて、以下の条件でテスト用アプリケーションの追加申請が可能になりました。

1. アプリケーション名の先頭に、テスト用途であることがわかるよう[Dev]を付ける  
例：[Dev]テスト用
2. QPSについてはデフォルトのまま、変更できない
3. 継続的に売上が出ている広告アカウントの利用は行わない

テスト用アプリケーションの追加申請は、お問い合わせフォームから申請してください。

(ご参考) お問い合わせフォーム

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/faq/>

# テストアカウントの追加について

テストアカウントについて、お申込み時に付与されたテストアカウントとは別に新規でテストアカウントを発行することが可能です。

例) 申し込み時のYahoo!JAPAN ビジネスID (以下、ビジネスID) 以外のビジネスIDでテストアカウントを使いたい場合など

(ご参考) テストアカウントについて

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/developers-guide/test-account.html>

# 検索広告レポートの取得最長期間の変更について

パフォーマンスレポートおよび各画面に表示されるパフォーマンスデータと統計情報について、取得可能な最長期間を以下のとおり変更しました。

実施日：2025年2月19日（水）

（変更前）アカウント開設時点から全期間

（変更後）データ抽出日から11年前の同日まで

本変更により取得不可となる期間のデータが必要な場合は、事前にデータの保存やバックアップをご検討ください。

参考：【検索広告】パフォーマンスレポート・パフォーマンスデータを取得可能な最長期間の変更

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-api/announcement/250116.html>



# LINEヤフー